

米田 太一



平素より農林水産行政及び筑後川下流右岸農地防災事業へのご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

当事業所では、佐賀平野にある1万ヘクタール超の農地の湛水被害や用水確保対策として、内水氾濫対策の要となる幹線的なクリークの改修

整備を進めており、平成24年度に事業着手して以降、皆様方のご協力を頂きながら、計画総延長173 kmに対し今年度までに135 kmの改修を終え、8割弱の進捗となります。

クリークは、昨年3月にNHKのブラタモリでも紹介されたように有明海で干潟の発達、干拓を繰り返しながら佐賀平野を形成する中、人々が洪水や干ばつと戦ってきた結果、平野全体に血管のように張り巡らされた、国内でも珍しい本地域特有の農業遺産と言えます。

また、干潟から発達した佐

賀平野では潮位の影響もあり、地域内の洪水を単純に排除することが難しく、洪水を一時的に貯留する1200万^m級のダムのような機能を有するクリークは佐賀平野の洪水対策上、不可欠な施設となつています。

令和元年以降、毎年のように豪雨災害が頻発する中、農地や農業用施設等の農業の生産基盤だけでなく、地域住民の生活を守る、防災・減災の生命線と言える社会インフラとしてのクリークを地域全体で維持管理していくことが重要と考えています。

そのためにもクリークの計画的な整備を推進するだけでなく、クリークが有する多面的な機能、役割を、継続して行ってきた小学校への環境学習の機会等を通じて情報発信していくことにより、佐賀平野の農業振興、洪水対策に貢献し、クリークの適切な維持管理につながる、その重要性の再認識の深化に向けて、職員一丸となって取り組みますので、皆様方には一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます、新年の挨拶とさせていただきます。



佐賀市長
坂井英隆

あけましておめでとーござ
います。

4年ぶりに海外選手が参戦す

るフル開催の国際大会となりました。5日間で90万人を超え、お客様が訪れ、その約6割は海外や県外からの来訪であり、大盛況となりました。

街全体が感動に包まれ、その様子がSNSなどで広く発信され、大きなPR効果もありました。

今年は、佐賀の魅力に磨きをかけ、「佐賀らしさ」をテーマに、変化を恐れず、新た

な価値を生み出す1年にしたいと考えています。昨年オーブンしたSAGAアリーナでは、新しいエンタメが生まれ、熱気に包まれ、新しいヒトやモノの流れができていることを実感しています。この良い流れを「点から面」に広げていき、多くの方に効果が波及する仕掛けを作ることで、佐賀市全体の盛り上がりに繋がっていきます。

そして、「いよいよ」SAGA 2024（国スポ・全障スポ）“が開催されます。78年続いた国民体育大会が、今年から国民スポーツ大会に生まれ変わります。佐賀から始まる新しい大会をまち全体で盛り上げていきたいと考えてい

ます。一生に一度の大舞台での躍動を「応援」という形で後押しし、選手たちの心にずっと残る場所になるように取り組んでいきます。そして、市民一丸となった最高のおもてなしで全国の皆さまをお迎えして、佐賀市の魅力を広めていきたいと思っています。

バルーンフェスタやSAGAアリーナ、SAGA2024に限らず、多くの方に来ていただくためには、インフラとしての道路が欠かせません。目的地で過ごす時間だけでなく、行き帰りの安全で快適な環境を整えることも大事なおもてなしだと考えています。

現在、佐賀県内の広域幹線

道路ネットワークの重要路線である有明海沿岸道路と佐賀唐津道路（佐賀道路）の整備が進められています。市においては、そのアクセス道路や佐賀駅・アリーナ間の市道三溝線の整備を進めています。国や県と連携しながら、一日も早い完成に向けて努めていきます。

2024年も「動きます、佐賀市。」のスローガンのもと、常に挑み続ける姿勢で、市政を力強く前に進めていきます。

今年一年が皆様にとりまして、明るく幸多き年になりますことを祈念しまして、新年のご挨拶といたします。

[illegible]